

## 製品安全データシート (SDS)

作成日 2003 年 10 月 31 日

改訂日 2020 年 10 月 23 日

確認日 2022 年 8 月 1 日

## 1 化学品及び会社情報

商品名称；アスクル オリジナルスティックのり

管理番号；No.190019

会社名；アスクル株式会社

住所；135-0061 東京都 江東区豊洲 3-2-3

担当部門；マーチャンダイジング本部 品質マネジメント統括部

電話番号；0120-345-861

推奨用途及び使用上の制限；接着剤。接着剤以外には使用しないこと

## 2 危険有害性の要約

GHS 分類；

物理化学的危険性；

爆発物、可燃性又は引火性ガス、エアゾール、支燃性又は酸化性ガス、高圧ガス、引火性液体、可燃性固体、自己反応性化学品、自然発火性液体、自己発熱性化学品、水反応可燃性化学品、酸化性液体、酸化性固体、有機過酸化物、金属腐食性物質、以上の分類では分類対象外  
自然発火性固体での分類は、区分外(常温の空気と接触しても自然発火しない)

健康に対する有害性；後述の 11 有害性情報を参照

環境に対する有害性；後述の 12 環境影響情報を参照

GHS ラベル要素；該当しない

GHS 分類区分に該当しない危険有害性(粉じん爆発等)；特にはなし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要；特にはなし

## 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別；混合物

化学名；ポリビニルピロリドン系固形糊

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物；なし

成分及び含有量；

成分名	含有量 (%)	CAS No	官報公示整理番号 (安衛法・化審法)
ポリビニルピロリドン	23.0~27.0	9003-39-8	—
脂肪酸ナトリウム	4.0~8.0	822-16-2	—
グリコール類	4.0~8.0	—	—
エチレングリコール	3.0~7.0	107-21-1	2-203
その他 (防腐剤など)	<1.0	—	—
水	残分	7732-18-5	—

---

#### 4 応急措置

吸入した場合；通常使用で問題は無いが、症状が出た場合は新鮮な空気のある場所に移す  
皮膚に付着した場合；通常使用で問題は無いが、付着した場合は多量の水又は石鹼水で洗浄する、  
皮膚にかぶれ、痛みなどがある場合は医師の手当てを受ける  
眼に入った場合；清浄な水で最低 15 分間洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受ける  
飲み込んだ場合；水でよく口の中を洗浄し、できるだけ早く医療措置を受ける  
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状；特にはなし  
応急処置をする者の保護；特にはなし  
医師に対する特別な注意事項；特にはなし

---

#### 5 火災時の措置

消火剤；水、粉末、炭酸ガス、泡など  
使ってはならない消火剤；特にはなし  
火災時の処置に関する特有の危険有害性；特にはなし  
特有の消火方法；一般火災と同様で特にはなし  
消火を行う者の保護；断熱手袋などの適切な保護具を着用する

---

#### 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置；付着した場合は多量の水又は石鹼水で洗浄する  
環境に対する注意事項；糊が河川などに排出されないように注意する  
封じ込め及び浄化の方法及び機材；ウエスや紙などで拭き取り周辺を水で洗浄する

---

#### 7 取扱い及び保管上の注意

取扱い；  
技術的対策(ばく露防止、局所排気など)；皮膚への接触、眼へのばく露を避ける、取扱い後に  
手や顔などを良く洗う  
安全取扱注意事項(粉塵発生防止など)；特にはなし  
接触回避(非混合化学物質など)；特にはなし  
保管；  
安全な保管条件；直射日光、高温環境、氷点下環境を避け、密栓して保管する  
安全な容器包装材料；ガラス、プラスチック、陶磁器。紙や薄い合成樹脂は避ける

---

#### 8 暴露防止及び保護措置

許容濃度(日本産業衛生学会、ACGIH)；下記表参照

成分名	CAS No	厚生労働省告示 管理濃度	日本産業 衛生学会	ACGIH (TLV)
ポリビニルピロリドン	9003-39-8	設定値なし	設定値なし	設定値なし
脂肪酸ナトリウム	822-18-2	設定値なし	設定値なし	設定値なし
グリコール類	—	設定値なし	設定値なし	設定値なし
エチレングリコール	107-21-1	設定値なし	設定値なし	25ppm(TWA)
その他(防腐剤など)	—	設定値なし	設定値なし	設定値なし
水	7732-18-5	設定値なし	設定値なし	設定値なし

設備対策；特にはなし

保護具；

呼吸用保護具；通常は不要であるが、必要に応じて適切な呼吸用保護具を着用する

手の保護具；通常は不要であるが、必要に応じて適切な保護手袋を着用する

眼の保護具；通常は不要であるが、必要に応じて適切な安全眼鏡および顔面保護具を着用する

皮膚及び身体の保護具；通常は不要であるが、必要に応じて適切な保護衣を着用する

---

## 9 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色)；白色固体

臭い；なし

沸点；データなし

初留点及び沸騰範囲；データなし

引火点；データなし

燃焼又は爆発範囲の上限と下限；データなし

蒸気圧；データなし

比重(相対密度)；データなし

自然発火温度；データなし

その他のデータ；pH は約 10-12、水で無限大に希釈可能

---

## 10 安定性及び反応性

反応性；特にはなし

化学的安定性；通常の使用条件下では安定

危険有害反応可能性；特にはなし

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動)；特にはなし

混触危険物質；特にはなし

危険有害な分解生成物；特にはなし

---

## 11 有害性情報

急性毒性；分類できない(データなし)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性；分類できない(データなし)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性；分類できない(データなし)

呼吸器感作性又は皮膚感作性；分類できない(データなし)

生殖細胞変異原性；分類できない(データなし)

発がん性；分類できない(データなし)

生殖毒性；分類できない(データなし)

特定標的臓器毒性、単回ばく露；分類できない(データなし)

特定標的臓器毒性、反復ばく露；分類できない(データなし)

吸引性呼吸器有害性；分類できない(データなし)

急性過剰曝露；分類できない(データなし)

---

## 12 環境影響情報

生態毒性；分類できない(データなし)

残留性・分解性；分類できない(データなし)

生体蓄積性；分類できない(データなし)

土壌中の移動性；分類できない(データなし)

オゾン層への有害性；分類できない(データなし)

---

### 1 3 廃棄上の注意

残余廃棄物；廃棄する場合は関連法規及び地方自治体の基準に従う、また、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する

汚染容器及び包装；空容器を廃棄する場合は内容物を十分に除去する

---

### 1 4 輸送上の注意

国際規制：国連番号；該当しない

品名(国際輸送名)；該当しない

国連分類(輸送における危険有害性クラス)；該当しない

海洋汚染物質(該当・非該当)；該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策；直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う

---

### 1 5 適用法令

化学物質排出把握管理促進法；該当しない

労働安全衛生法；名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） エチレングリコール（政令番号：75）

毒劇物取締法；該当しない

消防法；該当しない

その他；該当しない

---

### 1 6 その他

1. 記載内容は入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証を与えるものではありません。
2. 危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
3. 記載内容は通常の実施を前提としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途に適した安全対策を実施して下さい。
4. この情報は、新しい知見及び試験などにより告知なしに改正されることがあります。

出典；

- ・JIS Z 7253：2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- ・JIS Z 7252：2014「GHSに基づく化学品の分類方法」
- ・事業者向け GHS 分類ガイダンス-平成 25 年度改訂版-(平成 25 年 7 月、経済産業省)
- ・GHS 支援ツール類(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- ・分類された化学物質リスト(3,078 物質、GHS 関係省庁連絡会議の事業において分類)
- ・GHS 対応ガイドライン-ラベル及び表示・安全データシート作成指針-(2012 年 6 月、一般社団法人 日本化学工業協会)